(一) 第六十號 木曜日 京城日日新聞 大正九年九月二日 （大正九年七月一日第三種郵便物認可）

年中無休刊
京城日日新聞

社説

經濟界の未來
大に警戒と緊縮を要す

經濟界の動搖は今尚ほ繼續し、不景氣風は日本全土を襲ひ、固より朝鮮滿洲にも襲來して居る、經濟界の動搖は何時になつたら安定を得るであらうか、不景氣風は何時になつたら回復するであらうかと云ふことは何人の頭にも浮んで居る問題である、其れと共に物價は多少低落の傾向を示せるも、不景氣の割合には物價は低落せず、品物に依ると依然高價を維持して居るのみか、或は金騰貴の狀態を呈して居るものもある、不景氣で金儲けは少くなり、仕事は少くなつて來るのに物價は依然として高い、此に於て好景氣に浮かされたのは昨日の夢と消え、何人も企業難と生活難を動かざるもの無きに至つた、併し新界先覺者の觀測に依ると經濟界にはモー一度は必ず大動搖が來るに違ひないと云ふのに一致して居る、何となれば今では銀行でも餘り追窮するとばた〳〵に倒產者が出るから、徐々に回收する方針を取つて居る、又債權者も何うかして破產をさせずに、回收せんとして督促の手を緩めて居る、故に目下では先づ持ち合ひと云ふ狀態であるから、小康を得て居るが、目下の所では容易に不景氣を挽回する見込は立たない、從つて事業家も各大商店も自然持ち切れなくなる、銀行も債權者も、愈回收の見込無しとすると、何時迄待つて居つても仕方が無いから愈回收と整理に着手する。さうなると倒產者が續々と出るに違ひない、其時機は本年の末頃かと思はれる、故に財界は當分不安定で金融不景氣になるに違ひない、然して不景氣の割合に物價は何程當分餘りに低落せない、其は物品の多くは好景氣の時に造られたものが多いので、今俄に安價にしては製造元でも小賣商人でも損失を來たすから可成價格の維持に努めて居るから容易に低落せない、今一層不景氣になつて需要力が減じて來ないと物價は餘り下がるまいと云ふ觀測が多い、又不景氣になると職工賃でも使用人の手當ても安くなるから、自然物價は安くなるであらうが、何ほ當分は思ふやうに下がるまい。

之を要するに將來不景氣一方であろう、不景氣の續いた結果は戰時中突飛に膨脹した凡ての事業界と凡ての機關か漸次縮少される、又整理すべきは整理されると云ふ風になる、此に至りて初めて財界の安定を得、經濟界の順調を得るのである、要するに縮少と云ふことになるのである。

此に於て個人の事業も生活も好況時代に膨脹して居るから、漸次之を縮少して緊縮して行く外は無い、即ち事業費を縮少し生活費を縮少して行く外は無い、斯くして初めて個人經濟の安定を得ると云ふものである。其は即ち勤儉と云ふことである、勤儉と云ふことは不景氣に對して生活の安定を得るにも、又不景氣を回復するにも、勤儉と云ふことを實行する外は無い、大に働いて、大に節約すると云ふことになれば自然生活の脅威より免れ得らるゝのである、各人之を勉めよ。

殖民地概說（三七）
拓殖局編

第六章 殖民地の產業
第一節 農業

第五 滿洲

一 滿洲 農業は滿洲住民の主業なり、其の農法は幼稚、大體の作物の關係上凡て粗放的農法なり、而して滿洲の地たる沃野千里今尚ほ鋤を入れざる未墾の地廣漠たるものあり同地農業の將來益々刮目に値するものあらむ、其の耕地面積に就ては適確なる調査資料を得難きも大約我が一千萬町步と見て大差無かるべし、內奉天省三百四十萬町步、吉林省四百二十萬町步、黑龍江省二百六十萬町步なりとす而かも將來水田に開拓し得べき見込地大約五六十萬町步あり、又家畜飼育の如き果樹栽培の如き將た牧畜業の如き何れも有望ならざるは無し、而して帝國臣民は大正四年日支條約に依り南滿洲に於て各種商工業上の建物を建設する爲又は農業を經營する爲必要なる土地を商租することを得るを以て將來邦人の活躍すべき絕好の新天地なりと謂ふべし、現在に於ける主要作物は高粱、大豆、粟、玉蜀黍にして高粱は約三千八百萬石、大豆は約二千萬石、粟は約二千八百萬石、玉蜀黍は約九百萬石を產出せり。

（四）養蠶 南滿洲に於ける養蠶は從來幾分行はれしと雖も殆ど謂ふに足らざりしが明治四十三年以降關東廳は桑苗及蠶種を配付し之を獎勵したる結果日支人にして養蠶に從事する者多きを加へ漸次發達の趨勢を示せり而して大正五年に於ける桑園段別は四十五町步餘其の產繭額は春秋蠶を合し六百四十餘貫なり。

（五）柞蠶 滿洲に於ける柞蠶の業は最初山東の移住民に依り傳へられたるものなるが爾來漸次發達し年產額約六百萬圓今や滿洲重要物產の一となり其の盛況山東を凌ぐの勢あり產地は遼東半島の北部を中心とし南は關東州に及び北は鳳凰城、岫巖、海龍、通化、桓仁方面に亘り其の區域甚だ廣し、されど未だ之が加工地たるに至らず。

四 農事機關 關東州に於ける農事機關は農事試驗場及金州種畜場を主なるものとす、又滿鐵會社に於ても沿線附屬地に對し各種の方面に亘り農事の改良指導に留心せり。

（一）農事試驗場 本場は大連に在り農產、畜產の改良增殖に關する試驗、調査、模範農事に關する事項、種苗、種卵、種畜等の配付に關する事項、土壤、肥料等の分析に關する事項、種苗、肥料等の鑑定に關する事項及農具農產の標本陳列に關する事項等を掌り其の效果尠からず

（二）金州種畜場 本場は畜產の改良增殖に關する事項、種畜及種卵の配付に關する事項と種付に關する事項、家畜の鑑定に關する事項、牧草栽培に關する事項、畜產に關する講話及講習等の任務を掌り畜產改良上切要の施設なり。

地方制改正（十三）

第三章 道地方費の財務

第二十六條 道知事は毎會計年度地方稅其の他一切の收入を歲入とし一切の經費を歲出とし歲入出豫算を調製し年度開始前朝鮮總督の認可を受くへし
特別會計に屬する歲入歲出は別に其の豫算を調製すへし

第二十七條 豫算超過の支出に充つる爲豫備費を設くへし

第二十八條 豫算の追加又は更正は朝鮮總督の認可を受くへし
豫算は年度經過後に於て追加又は更正をなすことを得す

第二十九條 道知事は豫算の認可を受くる後直に其の要領を告示すへし

第三十條 歲入の年度所屬は左の區分に依る
一 納期の一定したる收入は其の納期の末日の屬する年度
二 隨時の收入にして告知書を發するものは之を發したる日の屬する年度
三 隨時の收入にして告知書を發せさるものは領收を爲したる日の屬する年度但し補助金寄附金及起債收入は年度經過後と雖出納閉鎖期迄は之を豫定したる年度の歲入と爲すことを得

第三十一條 歲出の所屬年度は左の區分に依る
一 費用辨償、報酬、給料其の他の諸給與及傭人料の類は、其の支給すべき事實の發生したる日の屬する年度但し支拂期日の定めあるものは其の支拂期日の屬する年度
二 通信運搬費、土木建築費、物件の購入代價、其の他契約に依る支拂金は契約を爲したる日の屬する年度但し契約に依り定めたる支拂期日あるときは其の支拂期日の屬する年度
三 前二號に揭くるものを除くの外は總て支拂命令を發したる日の屬する年度但し補助金、負擔金、缺損補塡は其の決定ありたる日の屬する年度

第三十二條 各年度の經費は其の年度の歲入を以て之を支辨すへし
各年度に於て決計に剩餘あるときは翌年度の歲入に編入すへし
年度經過後に至り歲入を以て歲出に充つるに足らざるときは翌年度の歲入を繰上け之に充用することを得

第三十三條 豫算に定めたる各款の金額は彼此流用することを得す豫算各項の金額は朝鮮總督の認可を受け之を流用することを得

第三十四條 道地方費の歲入は道知事は、其の委任を受けたる官吏吏員之を徵收す
道知事は府面をして地方稅以外の收入を徵收せしむることを得
其の徵收に關しては第二十四條第二項の規定を準用す

第三十五條 支出を爲さしむとするときは道金庫に對し支拂命令を發行すへし
支拂命令は道知事又は其の委任を受けたる官吏吏員其の他職員之を發行す

第三十六條 支拂命令は債主又は其の代理人の爲にするに非されは之を發行することを得す

第三十七條 人夫賃金及道金庫所在地外に於て支拂を必要とする經費は現金前渡を爲すことを得

第三十八條 左の經費は概算拂を爲すことを得
一 旅費
二 訴訟費用

第三十九條 前金支拂に非されは購入又は借入の契約を爲し能はさるものに限り前金拂を爲すことを得

一日一人（四五）
ヒマラヤ山人

松永外事課長

總督府外事課長松永武吉氏は明治二十四年の帝大法科を卒業すると遞信省試補を振出しに遞信省參事官、遞信大臣秘書官、遞信省參事官と云ふ風に榮轉し、二十九年伯牙利にけける萬國電信會議へ委員として派遣され三十年歸朝するや一等郵便電信局長として横濱に在勤した、三十三年には瑞西伯爾尼府に於ける萬國郵便聯合會に列席し更に佛國巴里に於ける第六回萬國府中有數のものであらう、併し此は鐵道會議に參列して歸朝、三十六年に通信管理局長に任ぜられた、氏は斯の如く役人としての前半生は遞信局の役人として終始して來たのである、然るに三十七年方角違ひの福島縣知事となり四十三年に朝鮮總督府の役人となり平安南道知事に任ぜられて渡鮮したのである、然して大正五年京畿道知事に轉じ、昨年齋藤總督來任と同時に、大官連の異動ありし際、氏は知事を罷め外事課長に中樞院書記官長を兼ねて今日に及んで居る。

氏は外國通である、又遞信局通である、此點に於ては恐らく現總督府中有數のものであらう、併し此は長官としても不評判であつた。其れは單に行政上の手腕は云々されるのでは無くて、其人格と素行を云爲されて居つた、外事課長となつてから別に好評も聞かない、又惡評も聞かないが、何らも人物の內容に乏しいやうである。氏も明治二年生れと言へば本年五十一歲である、頭髮も禿て鶴髮滿條の感がある、皆い加減に人物の鑑察に努むべしてある氏は臨床の人で、の總督府長本氏の女婿である。

東京より
在京一記者

心中に於ては政局の現情に倦み原内閣の態度に厭果て一面に於ては財界の不況依然として持續され、漸く實業界一般の安定を得ざるが爲に外ならず候、然らば政局は果して如何の推移を見つゝある乎記者私見を以てすれば元來無理想なる原内閣のことなれば當然甚だ退引すべき今日なるに拘らず何等此點に考慮を拂ふことなく例の今日主義を以て漫然其日を送れるものに外ならずと存じ候

▲尤も之が爲に國家民人の蒙る不幸に至りては決して尠少に非ず結局最後の野垂れ死に迄原内閣を追窮せしむるを以て知つて徹底的に國家の幸福を舉げ得るものとせば吾々國民は當分甘じて其批政に耐忍するも苦しからざるべく候

▲此間に在りて政局と財界との關係に對する觀察のみは獨りに行き詰つゝあるは要するに人心の變遷を見るのみ加ふるに所謂名士の多くは曾を山間水邊の境に避けて政界甚だ沈滯の觀有之候

月日詩壇

月日俳壇

創作
地獄の幸福（二）
邦枝完二

閻魔 （小山のやうな體を一搖り搖つた後、さて徐ろに牡丹のやうな口を開いて）こりや、その方は松幸吉と申す者か。
俺 （極めて恐る〳〵大王の顏を見る）はい、仰せの通りで御座います。
閻魔 その方は何歲になるな。
俺 二十七歲で御座います。
閻魔 何月の何日に娑婆を出たのぢや。
俺 多分、四月八日だつたと覺えます。
閻魔 左樣か。釋迦と同じ日に地獄の迎ひを受けるとは、冥加至極の奴ぢや。しかしそれにしては、此處へ來るまでに、餘り日數が掛り過ぎて居るではないか。
……また三途の川の渡場あたりで、鬼婆女にでも戲れ、無駄に金錢を浪費してゐたのであらう。
俺 （閻魔てさへぎる）と、……不屆きの奴めが。

書記 （帳面を開きながら）こりやよく聞けよ。この帳面には太古より今日に至るまで、娑婆に於けるありとあらゆる人間の、財産を調べ上げて付け込みあるのぢや……それ見い。德川時代に至つては吉良上野之介、錢屋五兵衞。また現代の頁には、岩崎、久原、三井を始め、大成金から小成金まで一つ殘らず記へてあるのぢや。
閻魔 ——その方は鈴松とか申したな。
俺 はい。
閻魔 （くの字の見出しを開けて）父の名は何んと申した。
俺 虎之助と申しました。
閻魔 ふん、久保虎之助ぢや。（暫らく帳面を繰れども見當らず）父の職業は何んぢや。
俺 文士で御座います。
閻魔 （腰を曲げて）何、文士。文士とはその方は文士の子か。や、皆まで申すには及ばぬ。古來より文士にして、この「金持帳」に姓名を記載された者は絕無ぢや。——はてさて、貧乏にもならぬ奴が參つて來たものぢやわい。
俺 お言葉を返して、申し譯が御座いませんが、その爲めにならぬ奴とは、如何の譯で御座いませう。
閻魔 たわけめ。地獄と云はず極樂と云はず、今の時代は、悉くこれ金の世界ぢや。金がなくては、三途の河原に轉がる石ころも同じだわ。
俺 何うも恐れ入ります。その代り手前は、大王閻の御威光に縋りまして、現代の新智識を以て、地獄界の便宜を計らうと存じます。

（大きく頷き）さもあらう。してその方は、この度地獄への路用としては、何程の金を用意し參つたな。定めしその嘉愛から見ても、充分の手當は致し居るであらうな。
俺 （聊か當惑して）はい。その何と申し……實はその……。
閻魔 私は、見掛け通りの金持ちではございませんので。
閻魔 何と申す。見掛け通りの金持ちではないと申すか。ふん。
（下首をひねり、帳の綴紐をほどきて）こりや、娑婆の「金持帳」を見せい。
書記 はッ。（卜大王の前に大帳の面體を差出す）

俺 ……しまして、それは飛んだ御推察に逢ひで御座います。手前はもう足の骨が棒のやうになる程、この痩せた力の及ぶ限り働きまして、漸く昨日、あの莊嚴な地獄の門を潛る事が出來たので御座います。初めての途ゆゑ、嶮は不案内の道草を食ひました點は、大王の寬大なるお心に依つて、平に平に御容赦下さりませ。
閻魔 遲參の罪は赦し難く、本來ならば針の山へ追ひ上ぐべき奴なれど、しかし、一度は大目に見て取らせる。
俺 次郞といふ言葉を、その方は上もや忘れは致すまいな。
はい、娑婆に居ります時、よく芝居のセリフなどで聞き及びました。

内外電報

愛蘭に暴動勃發

愛蘭の形勢重大にして各地にて焼打連續し英首相ロイド、ジョージ氏は急遽避暑地より倫敦に還れり（倫敦來電）

愛蘭暴動激甚

愛蘭の暴動は日に猖獗となり廿五日來死者二十一名あり（倫敦來電）

ワルソー再攻準備

敗退せる過激軍はワルソー攻略の目的を以て全軍を集中しつゝあり（巴里來電）

波蘭軍占領確保

上部シレシヤよりの最近の報道に依れば波蘭軍は目下東方の八箇城を占領し居れるが波蘭軍は更に其占領を一層確保せむとして上記諸區域及其他多數の區域に於て獨逸官の武装解除を開始したりと報ぜらる（倫敦來電）

支那聯盟提出條件

國際聯盟會議に支那より提出す可き案件は目下外交部に起草中なるが日本に對するもの最も多く山東問題日支協約廿一箇條東清鐵道問題、尼港事件、露鮮境界軍隊撤退、間島問題等又各國に對する分は義和團賠償金支拂停止領事裁判撤廢英國の西藏問題等也（上海來電）

南支方面形勢重大

北江及び湘江地方は平穏なるも韶關及び東江附近は匪賊蜂起し惠州廣東間の交通を遮斷するの虞れあるより嚴重防備し居れり（廣東來電）

三督軍免職要求

和議問題に關し李純氏より靳雲鵬、李厚基、陳樹藩、三督軍の免職を先決す可しと電報し來れりと（北京來電）

廣西軍荊州維持

廣西軍は荊州を維持し居り廣西軍は莫榮新氏を救援する爲め梧州より軍隊を派遣しつゝあり（廣東來電）

禍首引渡問題と日貨排斥

二十九日上海日貨抵制代表者會議を開き小幡公使が徐樹錚等の禍首九名引渡しをなさざれば各省聯合して直に日貨排斥を行ふべしとの決議せり然れば日貨排斥熱は既に醒めて上海にては之に厭きたる位なれば何事もなかるべし（上海來電）

各地に農民蜂起す

哈爾賓よりの電報に依ればオムスク、トムスク、ノボ、ニコリスク方面の西部西伯利にも農民蜂起し居れりとの報あり多分過激派に對抗するに至るべし（東京來電）

我軍浦港對人保護

領事團より浦潮市内及港若地にある外人保護の請求に對し大井將軍は日本兵巡察隊増加すべき旨聲明せり（浦鹽來電）

浦鹽無警察狀態

浦潮市民兵の不足なるより市内は次第に無警察狀態に陥りつゝある爲め最近民兵増加の必要を感じ來れり（浦鹽來電）

セ將軍地雷に罹る

セミヨノフ將軍はチタ停車場に於て地雷に罹り大腿部に重傷を負ひ其他將士三十二名の負傷者を出だせる旨鮑貴林督軍より北京政府に急電し來れり（北京來電）

ウ軍代表商議

ウエルフネウジンスク軍代表委員長は高柳少將と商議せり（浦鹽來電）

西内閣總辭職

西班牙内閣は總辭職を爲したり（巴里來電）

新國會閉院式

北京新國會は三十日閉院式を行へり（北京來電）

佛白同盟賛成

白耳義政府は佛白同盟條約に賛成の意を表明せり（海牙來電）

新總理の通電

新總理は雲南、貴州、四川各省に[illegible]

在監囚絶食同盟

浦鹽在監囚徒は粗食と賃銀不拂に不平を抱き絶食同盟を開始せり（浦鹽來電）

[illegible]和[illegible]の意ある旨を通電せり（北京來電）

臺灣地方制度

新に制定せられたる臺灣地方制度は九月一日を以て發表せられたり

工場法改正案

[illegible]中の工場法改正案は來期[illegible]（東京來電）

旅團長會議

陸軍旅團長會議は十四日より召集せられ諸般の改正に關し協議の筈（東京來電）

原首相歸京

避暑中なりし原首相は一日歸京す（東京來電）

道知事會議開催

總督訓示

九月一日午前九時より總督府に於て道知事會議を開催したるが總督並に水野政務總監の訓示あり次で地方狀況の報告に移りたるが本日は初會の事とて午前中に打切り京畿道及忠清北道の報告を終了したり尚二日よりは午後も會議を繼續すべく訓示左の如し

茲に再び道知事會議を開きて親しく各位に接するを得るは[illegible]所なり、昨年内外の情勢に鑑み施政に一大刷新を加へむことを企圖してより正に一年[illegible]在りては道府面に諮問機關を設けて民意の暢達と民情に適する政治を期し[illegible]の普及を圖り[illegible]の増設を計畫し[illegible]

[illegible]

政務總監訓示

昨年十月三日道知事會議の開かるゝや總督親しく各位に訓示せらるゝ所あり本官亦新に施行せむとする施政の要項を擧げて各位の注意を促す所ありたり爾來約十箇月其の間孜々として努力したる施政の改善を圖り直に實行し得べきものは[illegible]

[illegible]

鮮人行動の眞相（上）

米國議員團來鮮の際に於ける

但し此の席上に於て獨立援助の請願を爲すこと及請願書を提出すること

以上の企劃に關する數種及名稱の不穏なる宣言書は米國議員團觀光團東洋に來るとの報傳へらるゝと共に續々として各地に頒布せられ爲に民心頗る動揺し不逞の徒は何等かの方法を以て

不穏の行動

を演ぜむとする形勢あり依つて當局に於ては嚴に注意中の處支那上海に於ては假政府は同地に居住する鮮人の組織せる愛國婦人會に於て作製せし太極旗（獨立國旗）を贈りて獨立運動を[illegible]

機運を促進

するに最も有利なり[illegible]

一、韓國國旗の特殊の意味ある紀念品を贈呈すること
二、鮮内多數有力者及婦人の署名を得て獨立援助請願を提出すること
[illegible]

最急警告文

[illegible]

領袖安昌浩

より京城居住の[illegible]

事實を探知

[illegible]

列車轉覆の

目的を以て[illegible]

京畿道面豫算

京畿道管内大正九年度面歳入歳出豫算は歳入に在りては總計百二十九萬四千九百八十九圓之を昨大正八年度に比すれば五十五萬八千二百六十圓の大膨脹にして其内主なるものは地税割の昨年度に於て二十八萬二千七百八十三圓なりしもの今年度に於ては五十八萬七千八百九十三圓即ち倍額以上の増徴となりたるは尤も著しきものなるが更に歳出に在りても昨年度に於て七十三萬六千七百二十八圓なりしもの今年度に於ては百二十九萬四千九百八十八圓となれるが其主なる原因は面長手當面書記給料の激増に依るものにして管内を通じ[illegible]

泡沫會社

成立困難、再興不能
幽靈會社眞相
（一） 裏面の悲喜劇

曰く創立延期曰く事業中止曰く排手せしと雖も其二三を除く會社は恰も三月以降に於て起れる財界變動の影響を受け殆ど創業の見込も無期延長之今春以來雨後の筍の如く京城に擧首せる所謂泡沫會社の現狀にして最近既に解散の悲運に際會せる者數社あり然も之等悲鳴を擧げ得し者は不幸中の幸福なる會社にして殘餘の二十數社は最後の悲鳴さへ擧げ得ざるの窮境に陥り殆ど徒手傍觀の狀態を持續し運命の成行を天に委するの悲慘なる消極を暴露するに到れり

窮境に

陥り昨年來財界好況に煽られて本年一月以降京城に於て企畫せられたる諸會社の數は三十一社の多きを數へ孰れも許可下附後直に[illegible]

解散の

已むなきに立ち到り其他孰れも事業縮少或は中止の慘狀に陥り七割八割の苦痛を續けつゝあるが今之等泡沫會社の眞相を記載すると共に其暗面に斯る種々なる紛糾悲喜劇の一部を公開して以て財界一斑の參考に資せんとするものなり即ち本年一月以降京城に於て創立せられたる會社は次の如し

漢城圖書	京城倉庫	
朝鮮食料品	京城製紙	
朝鮮製絲	ソウルホテル	
大同貿易	共進商會	
日華木材	麻生鐵業	
淡業會社	中央信託	
朝日石鹸	朝鮮スレート	
朝鮮自動車	朝鮮建材興業	
大東海印刷	朝鮮計器	
朝鮮製堂	京城石材	
東亜製飴	朝鮮圖書	
朝鮮商工	大正土地建物	
朝鮮釀造	京城勞務	
朝鮮信托		

形式的

にても事業を開始せるは朝日鑛造(?)龍山勸業陸運會東洋染織日華木材京城製皮漢城圖書朝鮮食料品同製絲大海堂の十一社にして其他は殆ど成立の見込みなく夫々拂込延期其他に依りて僅に表面を糊塗し整理に忙殺されつゝある者なるが右の内京城製靴(?)は二十八日遂に解散を發表せり

（以上の如くにして[illegible]）

鮮鐵价川輕鐵連帶

朝鮮線及京義線新安州線より分岐する价川輕鐵線とは從來大小荷物に限り連絡輸送をなし居りしが九月一日以降更に旅客及手荷物の連絡をも開始する事となり局線三等は輕鐵線並等と連帶せしむべしと因に兩線連帶取扱驛は局線南大門、龍山、平壤、新安州間各驛鐵道价川安州の兩驛なりと

滿鐵澤山定期運航

滿鐵澤山商會連帶貨物運送の釜山大阪間運航汽船は去る七月以降一時其運航を不定期となり居たるが此程第十一宇和島丸を使用し毎月三回定期に相互間運航する事となれり

納税異議申請期限

仁川府九年度豫算増加に伴ふ諸税増率に關しては夫々納税者に通牒を發したるが其中増率額に對し不當なりと爲し異議の申請を爲したる者あり調査の結果申請者の請求の正當なる者ありたるを認め府廳にては該人者等の減額を行ふ事となり二十九日付を以て其旨通知したりと因に異議申請期限は六十日間の事なれば萬一増加率に就き不服なる者あらば其手續を履行すべく但し從來年四期の納税期は本年度より年二期に改まりたる事を注意すると共に萬一の僥倖を希望し徒に申請を爲し當局者を煩はさざるやう心掛く可し（仁川）

仁取客月出來高

八月中に於ける仁川米豆取引所出來高は五百九萬一千一百石にして一日平均二萬三千六百石なり而して收入手數料は八萬四千百九圓五十錢一日平均三千三百六十四圓三十八錢に相當し出來高累計四千〇七十八萬五千石を數へり本月受渡米六百石其中其渡方今村商店廣神王丸神洋丸二隻を神戸港外に[illegible]

大阪便り

在阪 一記者

輸出綿布増加

八月上旬に於ける輸出綿布は綿木綿一萬九百七十梱半にて前月上旬に比し七千六百七十八梱前年同期に比し五千五十九梱半何れも増加し生金巾晒シーチングは一萬一千四百六十九梱にて前月同旬に比し一千八百四十四梱半前年同期に比し八百二十三梱半何れも増加し晒金巾晒シーチングは二百六梱半にて前月同旬に比し三百九十五梱半前年同期に比し二百六十六梱何れも減少を示せり

捺染耕二割安

本年冬物の商談は去月匆々二二製造元が其約店の意嚮を徴し多少の約定出來せしも其他大多數の製造家は未だ一般見送り狀態の由にて賣買兩者共に今少しく氣乘薄の觀あり而も右約定出來せるものすら其數量に至りては前年の比にあらざる由にて自然本品取引は概して多少遲延を免れざるべく相場は前年比較的昂騰せざりしは先づ前高値より三割安位の見當を唱へられ居れり

世界的海運不振

海運界は益不振にて英國の沿岸石炭運賃の如き戰前運賃以下に低落し最近大型船六ケ月十二志六片と邦貨換算四圓六十二錢見當の手合せを見るに至り米國方面も船腹過剩に新航路開始其他種々なる方法の下に消化すべく焦慮せるも何分石炭供給難に各港とも自然繋船狀態に陥れるもの數十隻を加へ或は近く英國の大英斷を行ふやも知れざるの形勢を呈し支那海運市場も歐洲中心の石炭輸送に二十萬噸内外を配船し居るも船員同盟罷業說に把憂を抱くもの少からずして前途の消化容易ならず若大型船弱々現はれ最近岸本汽船は勢丸二隻を神戸港外に[illegible]

工業藥品低落

工業藥品は底値を脱し落付氣味となりしは需要家筋も一齊に買進みし結果不活潑ながら市價も二三割方引戾せしが何分財界は尚ほ依然として不活氣の折柄とて貿易業者及び企業者の内には今尚は其内情に就て懸念せらるゝ向あるは一般に恐怖心去らず取引至極閑散にて相場も下押し石炭酸三十五錢苛性曹達鐵印六圓八十錢晒粉同五圓八十錢松脂十圓八十錢見當にて再び安値に陥りたり

警部補配置

其の筋に於ては一駐在所又は二個以上の駐在所を監督すべき警部補配設の議あり目下調査中なるが其の實現を見るは多少の時日を要すべしと

前駐支米國公使

前駐支米國公使一行三名は三十一日午前六時五十分入京し同日午後七時二十分内地へ出發せり

滿鐵執務時間

京管局執務時間は九月一日より午前九時より午後五時迄の規定なるも都合により來る十五日迄從前通り八時より四時迄執務すべし

京日十五週年祝賀

京城日報社にては九月一日創立十五週年に當るを以て知名の官民二百餘名を招待し朝鮮ホテルに於て盛大なる自祝の宴を催したり

日曜學校委員出發

入京中なりし世界日曜學校大會出席委員中の一行二十二名は一日午前十時渡邊高等法院長其他關係者の見送りを受け北行せり

人事

▲川村警務局長（山口縣）三十一日午前九時二十分入京出張
▲萬國日曜學校團（一行二十二名）一日午前九時三十分奉天へ
▲今村繁氏（元山府尹）京南大門通今村商店へ
▲交角仲藏氏（全南知事）同上　三十日入城館

[illegible]

株式界

京取株は三十日後場寄附に於て七圓ドタと迄落ちて開場以來の最低レコードを造つたが後場の大引で漸く八圓ドタに引戻したが要するに是は反動押して一日の前場は再び七圓台に落ち後場も同様七圓八十錢所を抵抑した買りも賣方も形勢觀望の有様で薄商内で閉散だ現在では何れ七圓台を見せると思はれる京株の四十八圓は堅い所だらう朝鮮土地の十一圓等も動かぬ所らしく尚目新らしい京電株や朝肥株は[illegible]

[illegible]

京株市場出來値（一日）

銘柄		前場	後場
京取	寄	一七、五〇	一七、八〇
同	引	一七、七〇〇	一七、八〇〇
同新	同	—	—
京	同	—	—
東新	同	—	—
拓新	同	—	—
東拓	同	—	—
仁取	同	—	—
鮮銀	同	—	—
殖銀	同	四八、〇〇	—
同新	同	—	—
商銀	同	—	—
同新	同	—	—

銘柄			
朝銀	同	—	—
同新	同	三七、〇〇	—
韓一	同	—	—
東拓	同	—	—
鮮土	同	—	—
朝紡	同	—	—
満手	同	—	—
京電	同	一七、五〇	—
同新	同	—	—
瓦電	同	—	—
京興	同	—	—
朝煙	同	—	—
東亜	同	—	—
朝郵	同	—	—
殖鐵	同	—	—
中鐵	同	—	—
同新	同	—	—
満鐵	同	—	—
同新	同	—	—
朝紙	同	二四、〇〇	—
満粉	同	—	—
朝皮	同	—	—
朝肥	同	六、〇〇	—
東貨	同	—	—

出來高　三十一日後場　三十一日前場　合計一、一五〇株　累計二萬二千九百株

仁川期米特電

九月一日前場

	當限	中限	先限
一節	寄 止 高 安 公		
[illegible]			

九月一日後場 [illegible]

東京期米特電

九月一日前場
當限止め　中限止め　先限止め

大阪期米特電

九月一日前場　三十圓三十一錢　三十圓六十一錢

	當限	中限	先限
一節	三〇、四〇	三〇、五〇	[illegible]
二節			
三節			
四節			三〇、八〇

九月一日後場

一節	三〇、七〇
二節	
三節	
四節	
五節	三〇、七二
六節	
七節	
八節	
九節	
十節	三〇、五九

京城の旅館に打寛ひだ 十三道知事さんのメートル

御國自慢を拜聽するの記 何れも劣らぬ「本道の誇り」

九月一日から總督府で開催された道知事會議列席の爲め朝鮮十三道の知事さん達は郎黨引連れて何れも目下京城の旅館へ滯在中である記者は此の十三道のお殿樣達の來城を各お旅館に訪問して、各自のお國自慢やら大メートルやらを拜聽に及んだ以下列記する處は即ちそのメートルの一部分である但し各道知事の談話中に於ける不逞鮮人、道産業、コレラ状况の三つだけは項を改めて紹介する

千八百餘島の政治

淺草苔の百萬圓も自慢の一つ

巴館にて 亥角全南知事さん

先づ第一に巴城館の三十番館に納まつた全羅南道知事さんの亥角仲藏氏をお伺ひした、小さい額に鬢しみの有り丈けを表はし懷しい情緒のある知事さんは浴衣に打くつろいで水臼の二階間に坐つてのお話し。こんな親しみのある知事さんを持つた全羅南道の住民は幸福だらうと先づ記者は亥角さんの……だしもう一つ御自慢と云へば島の多いことだ何樣千八百と云ふ島が有つて全南總面積の九百方里の中で島の面積が二百四十方里も有りますよ、從つて各島嶼の開發も一通りの苦勞じやない、所で道の内では莞島、光陽、高興、長興の四郡には澤山な海苔が取れる、この海苔の養殖は却々旅なもので年産額二十五萬圓に上つてゐるが實際は五十萬圓以上である東京の淺草海苔……

優美な 米や棉 牡丹臺の風光も

平壤の工業都市化も一寸感張れるよ

篠田平南知事さん

季節の人心は

東洋一の自慢が四つ

大鐵釜、金山、アラビヤ馬に騾驢も

山本旅館にて 時質忠南知事さん

九州だけ

藤川慶北知事さんの低音

小說春香傳の材料

朝鮮古代彫刻の美術品も誇り

ファミリーホテルにて 李全北知事さん

牧畜を

年產額

頭山滿の玄洋社

や的野半介と遊んだ昔話し

李成南知事さん

國境政治の趣味

鴨綠江畔の朝の散歩壯快

飯尾平北知事さん

自働車

座蒲團

道外に

自慢に

延長は

統軍亭

慶尙南道知事 佐々木さん

雲隱れした 申應熙氏

黃海道の行方

勞働者としての京城の女（六）

妻君勞働法案

京城の妻君連の爲め特に此の提燈を持つもの也

夫たるもの三省せよ

外交

洗濯

石を

拳骨

發揮

殘酷

秘密

京城

獨身

子供

理想

代理

治安

京織道は

安쀗を素通り

烏致院

學校衞生注意

學務局長より

不逞鮮人

逮捕さる

二百十日

各地も無事 靜穩なりし

梁起鐸釋放さる

金思民は居住制限

情狀

態度

京城虎疫

十美人投票第四回開票

いちようの猛者 多美三二躍して立つ

大關格惑頭の番狂せ 新顏續々として現る

舞臺は愈白熱戰と化す

第四回開票

十美人投票 九月一日正午迄

御注意

故野口氏追悼會

運動界

天氣豫報

京城十美人投票用紙

(六十一)
小説 照手姫
旭亭桃川若燕

演藝案内

喜樂館

人間タンク

大正館

鎮西八郎爲朝

梅吹く宿

ナムバーワン

黄金館

金剛物語

伊達梵字丸

惡魔の足跡

ぬれ夜

壽館

るいれき

キラズ大師堂